

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
北海道文化服装専門学校		昭和51年7月31日		谷内 眞佐子		〒062-0904 札幌市豊平区豊平4条8丁目1番7号 (電話) 011-811-0101			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人谷内学園		昭和39年6月5日		谷内 昭治		〒062-0904 札幌市豊平区豊平4条8丁目1番7号 (電話) 011-811-0101			
分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
服飾・家政		専門課程		ファッションクリエイト学科 ファッションデザインコース		平成7年文部省告示第7号			
学科の目的	本校は、教育基本法及び学校教育法に従い、服飾に関する専門的実力とクリエイティブな感性を育て、自己の能力に応じて活躍できるファッション界のスペシャリストを養成するとともに、より豊かな人間性の育成を目的とする。								
認定年月日	平成28年2月19日								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技		
2年	昼間	2,400時間					単位時間		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の)	専任教員数	兼任教員数	総教員数				
200人	27人	0人	7人	14人	21人				
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 前期試験・後期試験・欠席日数・提出物				
長期休み	■学年始: 4月1日～4月6日 ■夏季: 7月26日～8月17日 ■冬季:12月25日～1月19日 ■学年末: 3月25日～3月31日			卒業・進級条件	前期試験・後期試験・欠席日数・提出物				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 クラス担任を中心に、保護者を含めた三者面談			課外活動	■課外活動の種類 国内のコンテスト等 緑の羽根募金団体活動等 ■サークル活動: 有				
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ファッション業界、アパレル産業界等 ■就職率 85 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 80 % ■その他 (平成 28 年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)	■国家資格・検定 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報) 各コース共通 資格・検定名 種 受検者数 合格者数 パターンメイキング技術検定試験 ③ 74 67 ファッションビジネス能力検定試験 ③ 10 5 ファッション販売能力検定試験 ③ 33 21 洋裁技術検定試験 ③ 40 27 ■自由記述欄 第31回手作りフェスティバル ポスター・チラシイラストデザイン 最優秀賞1名 ACFアートステージ 2015 ファッションコンペティション ACFグランプリ1名 AIR-GIEFEM賞 1名 ACF賞(入選)1名 第30回文化服装学院連鎖校協会ファッションデザイン画コンクール 織研新聞社賞 1名 日本ファッション教育振興協会奨励賞 1名				
中途退学の現状	■中途退学者 3名 ■中退率 3.6 % 平成27年4月1日 在学者 83名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 74名 (平成28年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 体調不良、経済的理由、進路変更、学校生活の不適合 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任の個人面談、学習内容を正しく理解させるよう心掛ける。学習内容がどのように将来に繋がるかアドバイスする。								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 (無) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 (無)								
ホームページ	http://www.h-bunka.jp/								

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
北海道文化服装専門学校		昭和51年7月31日		谷内 眞佐子		〒062-0904 札幌市豊平区豊平4条8丁目1番7号 (電話) 011-811-0101			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人谷内学園		昭和39年6月5日		谷内 昭治		〒062-0904 札幌市豊平区豊平4条8丁目1番7号 (電話) 011-811-0101			
分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
服飾・家政		専門課程		ファッションクリエイト学科 ファッション技術コース		平成7年文部省告示第7号			
学科の目的	本校は、教育基本法及び学校教育法に従い、服飾に関する専門の実力とクリエイティブな感性を育て、自己の能力に応じて活躍できるファッション界のスペシャリストを養成するとともに、より豊かな人間性の育成を目的とする。								
認定年月日	平成28年2月19日								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技		
2年	昼間	2,400時間					単位時間		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の)	専任教員数	兼任教員数	総教員数				
200人	19人	0人	7人	14人	21人				
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 前期試験・後期試験・欠席日数・提出物				
長期休み	■学年始: 4月1日～4月6日 ■夏季: 7月26日～8月17日 ■冬季: 12月25日～1月19日 ■学年末: 3月25日～3月31日			卒業・進級条件	前期試験・後期試験・欠席日数・提出物				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 クラス担任を中心に、保護者を含めた三者面談			課外活動	■課外活動の種類 国内のコンテスト等 緑の羽根募金団体活動等 ■サークル活動: 有				
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ファッション業界、アパレル産業界等 ■就職率 85 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 80 % ■その他 (平成 28 年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)	■国家資格・検定 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報) 各コース共通 資格・検定名 種 受検者数 合格者数 パターンメイキング技術検定試験 ③ 74 67 ファッションビジネス能力検定試験 ③ 10 5 ファッション販売能力検定試験 ③ 33 21 洋裁技術検定試験 ③ 40 27 ■自由記述欄 第31回手作りフェスティバル ホスター・チアシイストデザイン 最優秀賞1名 ACFアートステージ'2015 ファッションコンペティション ACFグランプリ1名 AIR-G エフェム賞 1名 ACF賞(入選)1名 第30回文化服装学院連鎖校協会ファッションデザイン画コンクール 織研新聞社賞 1名 日本ファッション教育振興協会奨励賞 1名				
中途退学の現状	■中途退学者 3名 ■中退率 3.6 % 平成27年4月1日 在学者 83名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 74名 (平成28年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 体調不良、学校生活の不適合、経済的理由、進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任の個人面談、学習内容を正しく理解させるよう心掛ける。学習内容がどのように将来に繋がるかアドバイスする。								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 (無) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 (無)								
ホームページ	http://www.h-bunka.jp/								

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																				
北海道文化服装専門学校		昭和51年7月31日		谷内 眞佐子		〒062-0904 札幌市豊平区豊平4条8丁目1番7号 (電話) 011-811-0101																				
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																				
学校法人谷内学園		昭和39年6月5日		谷内 昭治		〒062-0904 札幌市豊平区豊平4条8丁目1番7号 (電話) 011-811-0101																				
分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士																		
服飾・家政		専門課程		ファッションクリエイト学科 ファッションビジネスコース		平成7年文部省告示第7号																				
学科の目的	本校は、教育基本法及び学校教育法に従い、服飾に関する専門的実力とクリエイティブな感性を育て、自己の能力に応じて活躍できるファッション界のスペシャリストを養成するとともに、より豊かな人間性の育成を目的とする。																									
認定年月日	平成28年2月19日																									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																			
2年	昼間		2,400時間					単位時間																		
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の)		専任教員数		兼任教員数		総教員数																
200人		22人		0人		7人		14人		21人																
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 前期試験・後期試験・欠席日数・提出物																				
長期休み	■学年始: 4月1日～4月6日 ■夏季: 7月26日～8月17日 ■冬季: 12月25日～1月19日 ■学年末: 3月25日～3月31日			卒業・進級条件		前期試験・後期試験・欠席日数・提出物																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 クラス担任を中心に、保護者を含めた三者面談			課外活動		■課外活動の種類 国内のコンテスト等 緑の羽根募金団体活動等 ■サークル活動: 有																				
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ファッション業界、アパレル産業界等			主な学修成果(資格・検定等)		■国家資格・検定 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報) 各コース共通																				
	■就職率 85 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 80 % ■その他 (平成 28 年度卒業者に関する平成29年5月1日 時点の情報)					<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受検者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パターンメイキング技術検定試験</td> <td>③</td> <td>74</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>ファッションビジネス能力検定試験</td> <td>③</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ファッション販売能力検定試験</td> <td>③</td> <td>33</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>洋裁技術検定試験</td> <td>③</td> <td>40</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受検者数	合格者数	パターンメイキング技術検定試験	③	74	67	ファッションビジネス能力検定試験	③	10	5	ファッション販売能力検定試験	③	33	21	洋裁技術検定試験
資格・検定名	種	受検者数	合格者数																							
パターンメイキング技術検定試験	③	74	67																							
ファッションビジネス能力検定試験	③	10	5																							
ファッション販売能力検定試験	③	33	21																							
洋裁技術検定試験	③	40	27																							
中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成27年4月1日 在学者 83名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 74名 (平成28年3月31日 卒業者を含む)			■中退率 3.6 %																						
	■中途退学の主な理由 体調不良、学校生活の不適合、経済的理由、進路変更																									
	■中退防止・中退者支援のための取組 担任の個人面談、学習内容を正しく理解させるよう心掛ける。学習内容がどのように将来に繋がるかアドバイスする。																									
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 (無)																									
	■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象																									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 (無)																									
ホームページ	http://www.h-bunka.jp/																									

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育課程編成に係る教職員と服飾に関わる外部の関係団体及び企業に携わる委員が、授業内容の改善を図るために教育課程編成を行う。教育課程編成委員会の基本方針としては、外部の専門家から意見を聴取し、授業編成に反映することを目的としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会規則において、教育課程の編成(授業科目の開設、講義内容・方法の改善・工夫等を含む。)にあたっては、教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請、その他の情報・意見を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努めることと位置付け、①業界における人材に専門性等の動向、②国又は地域の産業振興の方向性、③実務に必要な最新の知識・技術・技能、④その他教育課程の編成に関連する事項のそれぞれの分野についての審議を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全会員の名簿

名前	所属	任期	種別
谷内 眞佐子	学校法人谷内学園理事、北海道文化服装専門学校 校長	平成27年11月25日～平成28年11月25日	
谷内 彩子	北海道文化服装専門学校 校長代理	平成27年11月25日～平成28年11月25日	
古澤 暁子	北海道文化服装専門学校 教員	平成27年11月25日～平成28年11月25日	
宮越 由紀子	北海道文化服装専門学校 教員	平成27年11月25日～平成28年11月25日	
村木 敏員	北海道トンボ株式会社 顧問	平成27年11月25日～平成28年11月25日	③
峰江 卓也	HCA 社団法人北海道クリエイター協会 副会長 株式会社クラウドナイン 代表取締役	平成27年11月25日～平成28年11月25日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれかに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

- 第1回 平成27年11月24日 16:00～18:00  
第2回 平成28年 3月14日 15:30～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員会にて委員より出された意見を集約し、授業運営に反映することが適切であると判断した場合については、翌年度以降の授業に反映させる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業務提携先である服飾関連企業へ赴き、実際の生産現場の見学や業務実習、外部講師により服飾関連分野における専門技術や知識を講義により学ぶことにより、知識や技術の修得を図る。  
また、学生生活の集大成であるファッションショーを開催するに当たっては、準備段階から研修委託先企業に学生への指導を通じて関与してもらっている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

(企業研修)

- (1) 研修委託先である企業に赴き、店舗のディスプレイに関する構成、什器の使用方法、テグスの使い方など、基本的な技術を理解、習得し、テクニックの向上を目指す。
- (2) 研修委託先である企業に赴き、運営する店舗において、販売や商品管理等の店舗業務全般の実習を行う。
- (3) 研修委託先である企業に赴き、実際の生産現場において、商品管理や生産管理についてガイダンス等を通じて知識の修得を目指す。

(服装造形実技)

学生が学んだ知識や技術の集大成として、学生全員により行われるファッションショーである。本校で学んだ誇りと成果を全員の協力によって発表するとともに、来場されるお客様に心から喜んでもらえるような内容にするものとする。

(インテリアコーディネート)

照明の効果、床壁材の特徴から、設計デザインの基礎を学ぶ。

(色彩学)

色彩、フォルムコンポジションなど色について学ぶ。

(染色)

生地の染色技法(型染め)を実習を通じて学ぶ。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
企業研修	(1)ディスプレイに関する構成、什器の使用法、テグスの使い方など、基本的な技術を理解、習得しテクニックの向上を目指す。 (2)店舗において、販売や商品管理等の店舗業務の実習を行う。	株式会社カナリヤ
	研修委託先である企業に赴き、実際の生産現場において、商品管理や生産管理についてガイダンス等を通じて知識の修得を目指す。	北海道トンボ株式会社
		札幌白衣株式会社
服装造形実技	学生が学んだ知識や技術の集大成として、学生全員により行われるファッションショーである。本校で学んだ誇りと成果を全員の協力によって発表するとともに、来場されるお客様に心から喜んでもらえるような内容にするものとする。	有限会社ズノーネットワークス
インテリアコーディネート	照明の効果、床壁材の特徴から、設計デザインの基礎を学ぶ	有限会社アリエプラン・インテリア設計室
色彩学	色彩、フォルムコンポジションなど色について学ぶ。	染色工房米坂
染色	生地の染色技法(型染め)を実習を通じて学ぶ。	染色工房米坂

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教員は、専攻分野における実務に関する研修については、企業等が開催する服飾に係る技術や知識の修得・向上のための研修への参加、また、指導力の修得、向上のための研修については、各種関連団体の主催する教員能力認定講習等への参加を行うものとする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

関連企業及び団体が定期的に主催する技術の向上や知識の修得に係る講習等への受講  
平成27年度実績 4名

② 指導力の修得・向上のための研修等

ファッション関連団体や専修学校各種学校等の団体が定期的に主催する指導力の修得・向上のための講習への受講  
平成27年度実績 9名

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

関連企業及び団体が定期的に主催する技術の向上や知識の修得に係る講習等への受講  
平成27年度計画 12名

② 指導力の修得・向上のための研修等

ファッション関連団体や専修学校各種学校等の団体が定期的に主催する指導力の修得・向上のための講習への受講  
平成28年度計画 8名

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

よりよい学校運営の実現のために、学内のみならず、学校の運営に関わりのある企業学校関係者から学校運営に関する様々な意見、要望及び提案を頂き、学校の運営の改善に活かすことを目的とする

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像、学校の特色、学校の将来像
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、組織運営・意思決定機能、人事制度の整備、業務の効率化
(3) 教育活動	教育目標・育成人材像、教育到達レベルの明確化、カリキュラムの編成、授業の評価体制、成績評価・単位認定の明確化、資格取得の指導体制
(4) 学修成果	就職率の向上について、資格取得率の向上について、退学率の低減について、卒業生等の社会的な活躍及び評価の把握
(5) 学生支援	学生に対する日常生活・就職・経済面等に対する支援体制、学生の健康管理、保護者との連携体制、卒業生への支援体制
(6) 教育環境	施設・設備の整備、学外実習・インターンシップ・海外研修等についての教育体制、防災に対する体制
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動の適正化、教育成果の正確な伝達、入学選考の適正性・公平性、学納金の妥当性
(8) 財務	財政基盤について、予算・収支計画の妥当性、会計監査の適正性、財務情報公開の体制整備
(9) 法令等の遵守	法令の遵守、個人情報の保護、自己点検・自己評価の実施と改善
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献について、ボランティア活動の支援

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会にて委員より出された意見を集約し、学校運営に反映することが適切であると判断した場合については、翌年度以降の学校運営に反映させる。平成27年度の委員会においては、学校情報として、日頃の活動状況等のホームページへの掲載及び地域貢献活動や社会貢献活動の充実と積極的な関与を实践することとした。

(4) 学校関係者評価委員会の全会員の名簿

名前	所属	任期	種別
羽部 大仁	私立大谷中学校高等学校元PTA会長現後援会顧問	平成27年6月18日～平成29年3月31日(2年)	近隣関係者
峰江 卓也	株式会社クラウドナイン代表取締役	平成27年6月18日～平成29年3月31日(2年)	業界関係者
岩田 圭悟	有限会社ズノーネットワークス代表取締役	平成27年6月18日～平成29年3月31日(2年)	業界関係者 卒業生
児玉 美紀	有限会社CUTE STYLING OFFICE 代表	平成27年6月18日～平成29年3月31日(2年)	業界関係者 卒業生

(5) 学校関係者評価結果の開催時期

(開催日時) 平成29年7月19日 15:00～17:00  
北海道文化服装専門学校 大会議室

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

より開かれた学校経営や現在の教育活動を企業等の関係者に周知し、学校経営についてより理解を深めてもらうために学校のホームページ等に情報を公開する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の教育・人材育成の目標及び教育指導計画、校長名・所在地・連絡先
(2) 各学科等の教育	入学者に対する受入れ方針及び入学者数、カリキュラム、進級・卒業要件等、取得を目指す資格・合格を目指す検定等、資格取得等の実績、卒業生数・卒業後の進路等
(3) 教職員	教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	実習等への取組状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動
(6) 学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱い、活用できる経済的支援措置の内容等
(8) 学校の財務	貸借対照表等
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果及び評価結果を踏まえた改善方策

(ホームページ) 広報誌等の刊行物・その他( )

<http://www.h-bunka.jp/>

事務担当責任者	フリガナ	オカベ タツヤ	所属部 役職名	事務長
	氏名	岡部 達哉		
	所在地	〒062-0904 札幌市豊平区豊平4条8丁目1番7号		
	TEL	011-811-0101	FAX	011-811-0105
	E-mail	hokubun-jim@waltz.ocn.ne.jp		